2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション医学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎202
担 当 教 員	粕渕 賢志	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

リハビリテーションの概念や障害の階層性、各機能障害の病態や評価法、治療法などについての基礎を学び、リハビリテーションの全体像と展開を構造的に学習する。

《成績評価の方法と基準》

期末試験にて記述試験を行う。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

『リハビリテーション医学 改訂第4版』/全国柔道整復学校協会監修/南江堂

《授業外における学習方法》

次回の授業内容を告知するため、事前に教科書内容の確認をとること。

《履修に当たっての留意点》

受講にあたって予習、復習を十分に行うこと。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの理念や対象を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの理念と対象		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ICIDHやICFの障害モデルを理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	障害の階層とアプローチ		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節拘縮、変形、筋委縮、神経麻痺の病態を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション障害学(関節拘縮、変形、筋委縮、神経麻痺)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	痙縮、摂食嚥下障害、高次脳機能障害、廃用症候群の病態を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション障害学(痙縮、摂食嚥下障害、高次脳機能障害、廃用症候群)		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害の評価を理解する 身体計測、関節可動域の評価を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション評価学(障害の評価、身体計測、関節可動域)		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋力、意識状態、バイタルサイン、認知症の評価を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション評価学（筋力、意識状態、バイタルサイン、認知症）		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	小児運動発達、ADL、QOLの評価を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション評価学（小児運動発達、ADL、QOL）		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	運動麻痺、筋緊張、反射の評価を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション評価学（運動麻痺、筋緊張、反射）		
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	感覚、運動失調、画像の評価を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション評価学（感覚、運動失調、画像）		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害受容、関節可動域制限に対するアプローチを理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション治療学　（障害受容、関節可動域練習）		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋力強化、バイオフィードバックのアプローチを理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション治療学　（筋力強化、バイオフィードバック）		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	歩行練習、全身運動のアプローチや、リハビリテーション治療におけるリスク管理を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション治療学　（歩行練習、全身運動、リスク管理）		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療、作業療法、言語聴覚療法を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	チーム医療、リハビリテーション治療技術（作業療法、言語聴覚療法）		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法（運動療法と物理療法）を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション治療技術（理学療法（運動療法と物理療法））		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	義肢・装具を理解する	教科書 配布資料	教科書および配布資料の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション治療技術（義肢・装具）		